

1行目

表題 (MS-P ゴシック 14 point)

2行目

—副題 (MS-P ゴシック 12 point)—

4行目

聖徳太郎

岐阜聖徳学園大学教育学部

MS 明朝 10.5 point 中央記載

1行目 名前

2行目 所属名

Incorporating Outdoor Activities
Problems and Answers

Century 14 point (普通文字)

表題英訳は、全ての実践報告・原著論文に必要です。校正時に、適宜、センターが協力いたします。

英語副題は 12 point です。

Century 10.5 point (普通)

Taro YAMADA

Abstract

Century 11 point (太字)

When the new Course of Study takes effect in the academic year 2002, so-called "Integrated Study" becomes part of the elementary school curriculum. As part of the training for teaching "Living Experience" classes and so on, the Elementary Education Division of the Faculty of Education, Gifu University set up a course involving outdoor activities.

Century 10.5 point

原著論文著者が、御作成ください。

原著論文のみ必要

Key words : keyword 1, keyword 2, keyword 3, etc. (within 5 words)

キーワード：キーワード1 キーワード2 キーワード3 キーワードを5語以内で示す。

1行あけ

I. はじめに (MS ゴシック 11 point 太字)

1. 見出し (MS ゴシック 10.5 point 太字)

本文 (MS 明朝 10.5 point)

1行あけ

2. 見出し (MS ゴシック 10.5 point 太字)

本文 (MS 明朝 10.5 point)

(1) 箇条書き (MS 明朝 10.5 point)

本文 (MS 明朝 10.5 point)

(2) 箇条書き 長文の折り返しは箇条書きの書き始めにそろえる¹⁾。

① 箇条書き (MS 明朝 10.5 point)

② 箇条書き (MS 明朝 10.5 point)

i) 箇条書き (MS 明朝 10.5 point)

ii) 箇条書き (MS 明朝 10.5 point)

MS 明朝 10.5 point
(原著論文では、和文
キーワードは不要)
語と語の間は全角ス
ペース

本文は、左詰にて記述する。改行は、1文字分空ける。
全角平仮名モードと、半角英数モードを正しく使い分ける：
例えば10.5ポイントあるいは10.5 point と統一感を持たせる。

注・文献番号は、上付き通し番号でつける。

表1 タイトル（表では上にタイトルを書く）（MSゴシック 10.5 point）

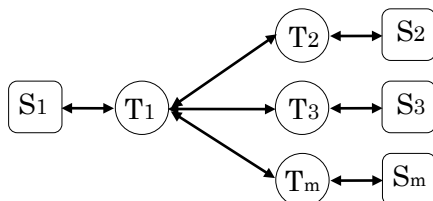


図1 タイトル（図では下にタイトルを書く）（MSゴシック 10.5 point）

II. 研究方法（MSゴシック 11 point 太字）

1. 見出し（MSゴシック 10.5 point 太字）

本文（MS明朝 10.5 point）

(1) 箇条書き（MS明朝 10.5 point）

(2) 箇条書き 長文の折り返しは箇条書きの書き始めにそろえる。

① 箇条書き（MS明朝 10.5 point）

② 箇条書き（MS明朝 10.5 point）

i) 箇条書き（MS明朝 10.5 point）

ii) 箇条書き

注・文献（MSゴシック 11 point 太字）

1) この様に、注は文献とともに本文末に付けます。MS明朝 10.5 point で書きます。

2) 聖徳花子（1999）：学習の自立をめざす自主学習教材開発への試み I，読書科学，43（1），234-241.

3) Shotoku, T., Takakuwa, H., and Hashima, H.. (2001): Training for Practical Teaching Skills and Qualities. The Annals of Gifu Shotoku Gakuen University, 41(3), 234-246.

欧文文献の著者名は姓を先に、名（頭文字のみ）を後に書き、最後の著者の前に and を入れる。

4) 岐阜太郎（1997）：「〇〇科教育の将来」，羽島出版，岐阜，55-68.

5) 柳津高子（2000）：〇〇教育の歴史，「〇〇の研究」（山田次郎編），高桑出版，岐阜，123-135.

6) Napoleon, Y. (2001) : 「児童の〇〇教育研究」（聖徳太郎訳），日本文化科学社，東京，11-46.

1) は注、2) と 3) は雑誌、4) と 5) は著書、6) は訳本の例です。（MS明朝 10.5 point）